

令和5年度 外国人留学生特別選抜試験問題
地域創生学部地域創生学科 地域文化コース

◆出題の意図

本学のアドミッション・ポリシーに即し、思考力・判断力・表現力について、箸という物質文化に関する文章を読み、内容を論理的に読み取れているか、話題となっている事柄について身近な例を取り上げて説明できるかどうかを総合的に測る。

◆標準的な解答例

ここに示したのは標準的な解答例であり、別解もあり得る。

問題一

問1

1. 箸先が細いこと
2. 様々な種類があること
3. 自分専用の箸を持っていること

問2

広島市の郷土料理にお好み焼きがある。広島出身者の中には、これを金属製のヘラで食べる人がいる。元々、このヘラは、焼き上がった円状のお好み焼きを切り分けるための道具であった。それが、やがて箸代わりに使われるようになったものである。(113字)

(採点のポイント)

- ・具体的な事例を取り上げて記述している。
- ・伝統的な使い方と現代の使い方が大きく変化した事例を取り上げている。
- ・文法、表記に誤りがない。
- ・文体（丁寧体・普通体）が混ざっていない。
- ・文字数が8割（96字）を超えている。